

ボランティアセンターの活動にご協力くださった皆さま

- ・明治学院大学同窓会
- ・明治学院大学保証人会
- ・明治学院同窓会ウィメンズクラブ「くらら会」
- ・個人1名（氏名非公表）

上記のみなさまよりご支援を頂戴しました。

2016年度マスコミ報道一覧

| 日付 | 媒体名 | 内容 |
|--------|---------------------|---|
| 4月9日 | 東京新聞 | 「Campus インフォメーション 明治学院大学 岩手県大槌町の中学生が『虎舞』」 |
| 4月15日 | 朝日新聞 | 「復興支援 恩返し虎舞 吉里吉里の生徒、明学大生に」 |
| 4月15日 | 岩手日報 | 「虎舞躍動 感謝胸に 大槌・吉里吉里学園 明治学院大（東京）を訪問」 |
| 5月12日 | タウンニュース 戸塚区版 | 「はがき寄付、1万枚超え 明学生がネパールに」 |
| 5月20日 | 戸塚新聞 | 「【明治学院大学】書き損じ・未使用はがきキャンペーン結果報告」 |
| 6月8日 | モルゲン | 「伝統芸能『虎舞』 吉里吉里学園中3生が明治学院大学で」 |
| 6月11日 | 朝日新聞 第2東京 | 「こどもの未来へ 大学の挑戦 明治学院大復興支援 心に刻む6年目」 |
| 7月11日 | 東海新報 | 「親子らで夕涼み会 きらりんきっずが開催 陸前高田」 |
| 7月11日 | 東海新報 | 「伝統絶やすまい、今泉のけんか七夕で山車1台を新調/陸前高田」 |
| 9月1日 | タウンニュース 戸塚区版 | 「商店会 どう展開?③明るさと温かさ、届け 第3回原宿松栄会」 |
| 9月18日 | 朝日新聞デジタル | 「岩手）生きた証事業、学生ボランティアの聞き取り開始」 |
| 9月18日 | 朝日新聞 | 「『生きた証事業』ボランティア 大槌で聞き取り開始 明学大生」 |
| 10月23日 | NHK | 「復興サポート がんばっぺ!熊本～東北からのメッセージ～」にて、ボランティアセンターの岩手県大槌町や陸前高田市での取り組みが取り上げられる |
| 1月17日 | エフエム戸塚 | 「とつか Evening station」にて、海外プログラム事業部の学生メンバーが「書き損じはがき・未使用はがきキャンペーン2017」を紹介 |
| 1月26日 | クリスチャントゥ デー | 「捨てないで! いらぬはがき 明治学院大ボランティアセンターの学生たちが女性差別問題の啓発を支援」 |
| 2月4日 | キリスト新聞 | 「サテライト ■募集 はがき回収で差別問題を啓発 明治学院大の学生が取り組む」 |
| 2月16日 | タウンニュース 戸塚区版・泉区版 | 「書き損じはがきを募集 明学大が呼びかけ」 |
| 2月17日 | 毎日新聞 神奈川版 | 「書き損じはがき 発展途上国支援へ 明治学院大生らが提供呼び掛け」 |
| 2月23日 | リベルタ 瀬谷区・泉区版 | ほっとハマナビ「不要なはがきを回収 明学生がボランティア」 |
| 3月30日 | 神奈川新聞 (朝刊・地域面) | 「国際機関インターン 経験糧に世界へ 日中韓3学生 夢抱き新たな一歩」 |

各年度の情報はボランティアセンターウェブサイトでご確認いただけます。

<http://www.meijigakuin.ac.jp/volunteer/introduction/media/>

2016年度ボランティアセンター運営委員会委員

野 沢 慎 司 (副学長) 【委員長】
生 田 少 子 (文学部)
濱 口 幸 弘 (経済学部)
深 谷 美 枝 (社会学部)
河 野 奈 月 (法学部)
齋 藤 百合子 (国際学部)
垣 花 真一郎 (心理学部)
原 田 勝 広 (教養教育センター)
東 澤 靖 (法科大学院)
岡 伸 一 (宗教部長)
大 平 浩 二 (教務部長)
亀ヶ谷 純 一 (学生部長)
武 村 美津代 (事務局長)
西 村 万里子 (センター長)
杉 山 恵理子 (センター長補佐)
猪 瀬 浩 平 (センター長補佐)
市 川 享 子 (ボランティアコーディネーター)
中 原 美 香 (ボランティアコーディネーター)

2016年度ボランティア活動推進委員会委員

西 村 万里子 (センター長) 【委員長】
可 部 州 彦 (教養教育センター)
谷 口 浩 一 (有識者)
唐 木 富士子 (学外有識者)
杉 山 恵理子 (センター長補佐)
猪 瀬 浩 平 (センター長補佐)
市 川 享 子 (ボランティアコーディネーター)
中 原 美 香 (ボランティアコーディネーター)

2016年度ボランティアセンタースタッフ

西 村 万里子 (センター長)
杉 山 恵理子 (センター長補佐)
猪 瀬 浩 平 (センター長補佐)
波多野 洋 行 (次長)
市 川 享 子 (ボランティアコーディネーター)
中 原 美 香 (ボランティアコーディネーター)
宮 城 玲 子 (課長)
松 本 剛
藤 田 あかり
北 野 順 子
石 塚 美 香
宮 本 晃 子
町 田 理 美
大田垣 美 穂
蘆 田 早 帆

明治学院大学ボランティアセンター規程

| | |
|-------------|---------|
| 2001年 7月18日 | 大学評議会承認 |
| 2004年 5月19日 | 大学評議会承認 |
| 2004年10月20日 | 大学評議会承認 |
| 2005年10月 7日 | 常務理事会承認 |
| 2005年12月 9日 | 常務理事会承認 |
| 2006年 1月13日 | 常務理事会承認 |
| 2006年 7月14日 | 常務理事会承認 |
| 2010年 3月12日 | 常務理事会承認 |
| 2014年 3月14日 | 常務理事会承認 |

(設置)

第1条 明治学院大学（以下、「本学」という。）に明治学院大学ボランティアセンター（以下「センター」という。）を置く。

(目的)

第2条 センターは、共通教育機関として、「他者への貢献」(Do for Others)の精神にのっとり、ボランティア活動を通じた人間教育を行うことを以て目的とする。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、以下の業務を行う。

- (1) サービス・ラーニングプログラムの企画、実施
- (2) 学生等に対するボランティアの立ち上げなど、学生の自主的活動の支援と助言
- (3) 地域や国際社会への貢献を目指し、社会との協働によるボランティアプログラムの開発
- (4) 学内外のボランティア活動に関する情報収集と学生への提供及び相談への対応
- (5) 教職員への情報提供とボランティア活動参加に関する機会提供
- (6) 本学におけるボランティア関連科目に関する協力
- (7) その他、学生等のボランティア活動の促進に必要な業務

(活動)

第4条 センターは、第2条の目的を達成するため、以下の学生の活動を支援する。

- (1) キャンパス周辺の地域に貢献する活動
- (2) ボランティア入門プログラムに伴う活動
- (3) 地震、津波、台風、洪水など自然災害に伴う被災地支援活動
- (4) 海外でのボランティア等に関する活動
- (5) 学外の人道支援機関、特定非営利活動法人（NPO）、企業等との連携活動
- (6) ボランティア参加への啓発活動
- (7) その他

(運営委員会規程)

第5条 センターの組織および運営に関する重要事項を審議するため、明治学院大学ボランティアセンター運営委員会を置く。

2 センター運営委員会規程は、これを別に定める。

(構成)

第6条 センターには次の職員を置く。

- (1) センター長 1名
- (2) センター長補佐 若干名
- (3) ボランティアコーディネーター 2名
- (4) 非常勤ボランティアコーディネーター 若干名
- (5) 事務職員 若干名

(センター長)

第7条 センター長は本学専任教員の中から、学長が任命する。その任期は2年とし、再任を妨げない。

2 センター長は、センターの業務を統括する。

(センター長補佐)

第8条 センター長補佐は、本学専任教員の中から、センター長の推薦に基づき学長が任命する。その任期は2年とし、再任を妨げない。

2 センター長補佐は、センター長の業務を補佐する。

(ボランティアコーディネーター)

第9条 ボランティアコーディネーターの任用等は、「ボランティアコーディネーター任用等に関する規程」による。

2 非常勤ボランティアコーディネーターの任用等は、「非常勤ボランティアコーディネーター任用等に関する規程」による。

(評価・評価委員会)

第10条 ボランティアコーディネーターは、3年ごとにセンター長の設置する評価委員会による評価を受ける。センター長は、その結果を学長に報告する。

2 非常勤ボランティアコーディネーターは、契約更新時にセンター長が設置する評価委員会による評価を受ける。センター長はその結果を学長に報告する。

3 前2項に基づき設置する評価委員会は、副学長、学生部長、センター長、センター長補佐、大学事務局長、その他センター長が指名し運営委員会の承認を得た者から構成する。

(活動推進委員会)

第11条 センターに、その事業の円滑な遂行を図るためボランティア活動推進委員会（以下「推進委員会」という。）を置く。

2 推進委員会は、センター長の諮問に応じて助言または提案を行い、推進委員によって構成される。

3 前項の推進委員は、ボランティア活動に識見を有する専任教職員、学生等、およびボランティア活動についての学外の有識者・実務家（若干名）からなり、その任期は2年とし、再任を妨げない。専任教職員にあっては、所属長の推薦により、その他の者にあっては運営委員会の議を経て、センター長が委嘱する。

4 センター長は、必要に応じて推進委員以外の者を陪席させることができる。

(学生メンバー)

第12条 センターの業務の遂行にあたって、センター長は、学生の参加と協力を求めることができる。

(規程の改廃)

第13条 本規程の改廃は、センター運営委員会の議を経て大学評議会および常務理事会の承認を得な

ければならない。

付 則

- 1 この規程は、2001年7月18日から施行する。
- 2 この規程の施行により、「明治学院大学ボランティア・センター暫定規程」は廃止する。
- 3 2002年4月1日一部改正施行（第3条第2項、教養教育センター設置による。）
- 4 2004年4月1日一部改正施行（第3条法務職研究科設置および委員にセンター長補佐追加による。）
- 5 2004年8月1日一部改正施行（第4条ボランティア・コーディネーター、事務職員数の変更による。）
- 6 2005年11月1日一部改正施行（第7条ボランティア・コーディネーター任用等に関する規程の新設による。第8条評価・評価委員会、新設）
- 7 2006年1月1日一部改正施行（コーディネーターを運営委員会委員とする。非常勤コーディネーターを新設する。）
- 8 2006年1月1日一部改正施行（第7条2項非常勤ボランティア・コーディネーター任用等に関する規程の新設による。）
- 9 2006年4月1日一部改正施行（第3条事務局職制変更による）
- 10 2010年4月1日一部改正施行（基本理念作成委員会の答申に基づき、第2条目的および第3条業務を見直し、第4条運営委員会規程を別途新設し本規程から削除、第5条センター長補佐の人数を変更、第7条センター長補佐は専任教員の中から選する、第9条2項に非常勤ボランティアコーディネーターの評価を明記、3項の評価委員会構成メンバーにセンター長補佐を追加、第10条4項推進委員会参加メンバーを弾力化する条文を追加）。
- 11 この規程は、2014年4月1日から施行する。（第3条3項、第4条学生の活動内容の追加、第5条3項の削除、第11条2項、第11条3項推進委員の学外有識者・実務家を2名から若干名へ変更、第12条見出し変更）